

会計名 一般会計			市道01-40号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	バイパス機能をもった幹線道路を整備することで、南北地域間における交通の円滑化を促す。	主たる内容	市道01-40号線（起点：中手町3丁目～終点：熊野町6丁目）の道路整備 延長 L=1,600m 幅員 W=12.0~15.5m					
	位置づけ	関連計画		第3次刈谷市都市計画マスタープラン					
		根拠法令		道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～平成38年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		用地取得 4,539㎡ 調査設計業務委託 （計画区域の土質調査） 橋梁設計業務		用地取得 2,021㎡ 道路詳細設計（取付市道）		道路設計（工事中仮設道路） 用地測量		用地取得 2,625㎡ 地質調査 周辺整備工事	
成果		平成27年度までに、道路用地の面積割合で全体の約81%が取得できた。道路用地取得対象地の権利者との交渉により、事業に一定の理解を得て、用地交渉を始めることができた。河川管理者と道路計画に関して事前協議を行った。							
課題		神社用地の取得について、神社庁と調整が必要。河川管理者と占用区域について、調整が必要。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		72.8	80.9	80.9	91.2	100	
活動指標		道路整備率（%）		—	—	0	0	10	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		158,807	82,061	70,647	343,386	合計 70,647,114 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費 200 円		
		一般財源	158,807	82,061	70,647	343,386	委託料 12,394,943 円		
	職員人件費②		17,674	12,249	6,581	21,217	工事請負費 3,365,280 円		
	総事業費（①+②）		176,481	94,310	77,228	364,603	公有財産購入費 2,627,509 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		6,588,604		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		1,528,146							
29年度以降の事業費見込		4,717,072							

会計名			市道01-40号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市街地における交通渋滞が慢性化していることから、南北地区間の移動に時間を要している。また通過車両が生活道路に流入し、生活道路の交通安全の確保が危惧される状況であるため、これらの対策を講じる必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	長期的な展望から、（仮）南北縦貫道路の一部区間の整備を行い、将来的な道路網を形成するため、本路線を都市計画決定し、広く市民からの理解を得て事業を推進する。また、社会資本整備総合交付金を活用して道路整備を進める。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	バイパス機能を持つ道路整備を行うことで、交通の円滑化や市街地内の渋滞が緩和され、地域間の交流が活発になる。また市民の身近な道路の安全性が確保されることで、良好な住環境が提供できる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路整備により、既存の幹線道路の混雑緩和と生活利便性の向上が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通り用地取得を進めるとともに、平成28年度からは道路整備に先立って周辺整備工事に着手する。					

会計名			市道1-32号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	井ヶ谷町の旧集落を横断する狭隘道路の拡幅を行うことで、沿道の防災性及び沿道住民の利便性の向上させる。		主たる内容	市道1-32号線（井ヶ谷町中ノ島）の道路整備 延長 L=250m 幅員 W=6.0m				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成14年度～平成32年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		(H24繰越分) 用地取得 123㎡ 物件移転補償 2件		—		用地取得 139㎡ 物件移転補償 4件		(H27繰越分) 用地取得 139㎡ 物件移転補償 4件	
(H25契約分) 道路新設改良 102m									
成果		平成27年度までに、道路用地の面積割合で全体の約68%が取得できた。							
課題		一部、用地確定が出来ていない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		52.4	52.4	68.1	68.1	68.1	
活動指標		道路整備率（%）		40.8	40.8	40.8	40.8	60.8	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		19,391	0	19,615	8,653	合計	19,615,485円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,800円	
		一般財源	19,391	0	19,615	8,653	委託料	1,604,199円	
	職員人件費②		1,894	0	4,466	913	公有財産購入費	4,739,600円	
	総事業費（①+②）		21,285	0	24,081	9,566	補償、補填及び賠償金	13,267,886円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		233,394		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		152,773					
29年度以降の事業費見込		71,968							

会計名			市道1-32号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	狭隘道路の拡幅であり、市民生活、防災上も必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東側から順次、用地購入、工事を進めていくため、事業効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にすると共に、防災上の観点からも公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	年度ごとに区間を定め、施工していくため、利便性の向上が早期に確認できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地境界未確定地についての用地確定を行い、用地取得を進める。				

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			

PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	都市環境				
		基本施策	道路・交通				
		施策の内容	道路の整備				
	目的	天王町と松坂町の幹線道路を結ぶ生活道路を新設整備して、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。	主たる内容	市道2-619号線（起点：天王町6丁目～終点：松坂町5丁目）の道路整備 延長 L=280m 幅員 W=6.0m			
	位置づけ	関連計画					
			根拠法令	道路法			
		対象者	市民	事業期間	平成12年度～平成30年度		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					

B 事業実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度計画
			用地取得面積 380㎡ 物件移転補償 1件	用地取得面積 918㎡ 物件移転補償 5件 擁壁設計

成果 平成27年度までに道路用地の面積割合で全体の約18%を取得できた。

課題 事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している

O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値	
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
	活動指標	道路用地の面積取得率（%）	—	—	17.7	73.1	100.0
活動指標	道路整備率（%）	—	—	—	—	100.0	

他市との比較検証

C 事業コスト	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度 事業費内訳		
	事業費 ①	0	0	5,673	106,634		合計 5,672,590 円	
	財源	特定財源	0	0	0		0	需用費 1,200 円
		一般財源	0	0	5,673		106,634	委託料 1,136,591 円
	職員人件費 ②	0	0	2,742	13,232		公有財産購入費 4,206,760 円	
	総事業費（①+②）	0	0	8,415	119,866		補償、補填及び賠償金 328,039 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	250,281		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		5,072						
29年度以降の事業費見込		138,575						

会計名			市道2-619号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地元要望に伴い、幹線道路と生活道路を結ぶ道路を新設する事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	計画的に事業用地の確保を行っており、効果の確認ができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民の利便性の向上を図る、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	生活道路を新設整備することにより、緊急車両の通行を可能にする等、地域住民の利便性が確保される。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
用地買収を続けるとともに、道路新設工事のための業務委託を発注していく。					

会計名			市道01-3号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	東境町と西境町を結ぶ地区の主要道路に歩道を設置することで、歩行者の安全性を確保する。 また、東境地区においては、排水路の整備を行い、断面不足を解消する。		主たる内容	市道01-3号線（起点：東境町大坪～終点：西境町石根）の道路整備 延長 L=890m 東境区間 延長 L=500m 幅員 W=11.9m 車道幅員 6.0m 歩道幅員 2.5m 水路幅 2.8m（歩道重複） 西境区間 延長 L=390m 幅員 W=8.5m 車道幅員 6.0m 歩道幅員 2.5m 橋梁拡幅 1箇所					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民	事業期間	平成20年度～平成28年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		(H24繰越分) 橋梁工事 1箇所 道路新設改良 68m		用地取得 115㎡		(H26繰越分) 用地取得 54㎡ (H27契約分) 用地取得 76㎡ 道路新設改良 144m		道路新設改良 120m		
(H25契約分) 用地取得 186㎡ 道路新設改良 65m										
成果		・平成27年度までに道路用地が全て取得できた。 ・工事を進める事により、道路の歩車道分離延長が増え、より安全に通行できる道路になった。								
課題										
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		道路用地の面積取得率（%）		70.6	83.8	100.0	—	—		
活動指標		道路整備率（%）		69.7	70.8	86.5	100.0	—		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		79,015	4,635	80,346	29,000	合計	80,345,735 円		
	財源	特定財源	0	0	0	9,000	需用費	4,400 円		
		一般財源	79,015	4,635	80,346	20,000	委託料	825,581 円		
	職員人件費②		6,102	5,420	8,148	1,673	工事請負費	41,509,800 円		
	総事業費（①+②）		85,117	10,055	88,494	30,673	公有財産購入費	6,304,958 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		508,721		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		474,711								
29年度以降の事業費見込		5,010								
						負担金、補助及び交付金	3,557 円			
						補償、補填及び賠償金	31,697,439 円			

会計名			市道01-3号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路利用者の利便性・安全性の向上の確保のため、道路の拡幅と歩道の設置を行う事業であるため必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	順次、歩車道を分離する工事を進めていくことにより、事業の効果が早く確認できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の、改良整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い工事である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路整備で歩道をつくることにより、道路を安全に通行できるようになる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度事業完了予定。					

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	一方通行である生活道路を拡幅するとともに、歩車分離により車両と歩行者が安心して通行できる道路環境を確保する。	主たる内容	市道2-485号線（起点：銀座5丁目～終点：銀座4丁目）の道路整備 延長 L=220m 道路幅員 W=12.0m 車道幅員 W= 7.0m 歩道幅員 W= 2.5m					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
	対象者	市民	事業期間	平成13年度～平成30年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		—		—		物件調査業務委託 1件		(H27繰越分) 用地取得 134㎡ 物件移転補償 1件	
成果		用地交渉を行い、事業に対する理解を得ることに努めた。							
課題		用地交渉が難航している。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			69.5	69.5	69.5	87.5	100.0
成果指標		道路整備率（％）			—	—	—	—	100.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	4,482	6,756	合計	4,482,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,482,000円	
		一般財源	0	0	4,482	6,756			
	職員人件費②		0	0	2,899	2,434			
	総事業費（①+②）		0	0	7,381	9,190			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		473,892		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		327,732							
29年度以降の事業費見込		139,404							

会計名			市道2-485号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	生活道路を拡幅し、歩車道を分離することにより、歩行者・自動車が安全に通行できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	両側拡幅ではなく、南側拡幅とすることで、物件補償費が軽減できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	道路拡幅により、一方通行であった路線を交互通行とすることができるため、利用者の利便性が向上する。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	残りの地権者交渉を進め、用地取得ができた段階で、整備を進める。				

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第1係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	既存の歩道及び車線を拡幅整備することで、南北地域間を結ぶ交通の円滑化及び児童を始めとする歩行者の安全性を確保する。			主たる内容	市道01-4号線（起点：西境町蒲生池～終点：今川町井田）の道路整備 延長 L=2,240m 幅員 W=13.5m(両側歩道 W=2.5m)				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市都市計画マスタープラン							
			根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成11年度～平成34年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		道路新設改良 162m		(H25繰越分) 道路新設改良 162m (H26契約分) 道路新設改良 170m		道路新設改良 180m 橋りょう予備設計 道路詳細設計		道路新設改良 105m		
成果		道路新設改良工事を実施し、道路整備率の進捗を図ることができた。								
課題		発杭川の河川改修計画に関連する区間について、施工方法や実施時期など河川管理者と事業調整する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標	道路整備率（%）			71.3	83.3	87.3	90.3	95.5		
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		21,864	50,385	73,196	28,000	合計	73,196,089円		
	財源	特定財源	4,400	16,500	9,000	3,900	需用費	10,000円		
		一般財源	17,464	33,885	64,196	24,100	委託料	19,581,145円		
	職員人件費②		2,946	4,857	6,973	2,814	工事請負費	43,134,120円		
	総事業費(①+②)		24,810	55,242	80,169	30,814	公有財産購入費	10,470,824円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		32,171,920		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		2,599,320		社会資本整備総合交付金（国）						
29年度以降の事業費見込		29,544,600								

会計名			市道01-4号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	当該路線は国道1号線と連絡する重要な路線であり、交通量が多い上に大型車の混入率が高い。また一部区間は通学路として利用されている。しかし、車線幅員や歩道幅員が狭く、交差点で慢性的な交通渋滞が発生しているため、交通の円滑化と安全性の向上を図る必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	社会資本整備総合交付金を活用することで、建設コストの低減に努めている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	ゆとりある暮らしを支える生活基盤として、道路の拡幅整備や交差点改良を行うことで、交通安全や生活利便性の向上を図るとともに企業の産業活動を促進する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	道路の整備は、県道岡崎豊明線との交差点改良、及びバイパス区間は道路の拡幅が完了しており、交差点の渋滞緩和と旧道沿線地区の良好な住環境の形成（騒音や交通安全確保）に一定の効果がある。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
計画区間の道路整備を継続するとともに、今川町交差点の改良を行う。					

会計名 一般会計			市道1-227号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	岩ヶ池公園の駐車場整備に伴う信号設置に合わせ、右折帯設置を行い、交通の安全を確保する。	主たる内容	市道1-227号線（起点：東境町光ヶ丘～終点：東境町光ヶ丘）の道路整備 延長 L=160m 幅員 W=13.0~15.75m （歩道W=3.0mは公園敷地、一部道路）					
	位置づけ	関連計画		刈谷レストラーレ基本構想					
		根拠法令		道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成24年度～平成30年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		公安協議		用地取得面積 67㎡		—		—	
成果		平成27年度までに道路用地の面積割合で全体の約35%を取得できた。							
課題		用地取得に難航している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			20.3	34.5	34.5	34.5	100.0
活動指標	道路整備率（%）			—	—	—	—	100.0	
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	3,756	0	1,539	合計	200円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	200円	
		一般財源	0	3,756	0	1,539			
	職員人件費 ②		0	2,957	940	913			
	総事業費（①+②）		0	6,713	940	2,452			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		130,705		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		3,919							
29年度以降の事業費見込		125,247							

会計名			市道1-227号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	年間800万人を超える利用者がある刈谷ハイウェイオアシスの需要に対応する事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	岩ヶ池公園整備事業との整合を図り、一体的に整備することで効率的かつ効果的な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	レクリエーション拠点としての機能の充実が位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	休日の慢性的な渋滞や混雑を緩和し、利用者の安全及び周辺交通環境に寄与する事業である。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地取得に難航しているが、引き続き早期事業完了に向け用地交渉を継続していく。				

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	市役所と県道知立東浦線を結ぶ歩車分離した道路を整備することで、市役所利用者の利便性向上と、東陽町商店街の活性化を図る。	主たる内容	市道2-643号線（東陽町3丁目）の道路整備 延長 L=125m 幅員 W=8.5m					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
	対象者	市民	事業期間	平成26年度～平成30年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				用地測量		用地取得 201㎡ 物件移転補償 3件 道路詳細設計		(H27繰越分) 用地取得 135㎡ 物件移転補償 3件 (H28契約分) 用地取得 173㎡ 物件移転補償 1件	
成果		取得が必要な道路用地のうち約31%を取得することができた。							
課題		用地取得に難航している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（%）			—	—	30.6	57.0	100.0
活動指標		道路整備率（%）			—	—	—	—	100.0
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	40,753	66,938	合計	40,752,520円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	15,400円	
		一般財源	0	0	40,753	66,938	委託料	5,403,120円	
	職員人件費②		0	0	3,682	8,669	公有財産購入費	19,433,000円	
	総事業費（①+②）		0	0	44,435	75,607	補償、補填及び賠償金	15,901,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		206,795		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		40,752							
29年度以降の事業費見込		99,105							

会計名			市道2-643号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	歩道付きの道路を整備することで市役所利用者の利便性の向上と、地域住民の交通安全の確保が図られる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	東陽町名店街ビル周辺の土地利用の変化にあわせて事業を行い、用地取得費及び物件補償費の縮減を図った。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性が高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	市役所利用者及び地域住民の利便性が向上すると共に、安全で円滑な交通が確保できる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	用地取得に進め、早期に工事着手をする。				

会計名			担当部				建設部					
一般会計			担当課				道路建設課					
款	項	目	担当係				事業推進係					
8	2	3	市道2-496号線他道路新設改良事業									
P L A N ∧ 計 画 要 素	総合計画 施策体系						分野	都市環境				
							基本施策	道路・交通				
							施策の内容	歩道・自転車道の整備				
目的		伝統的な祭りである万燈祭等、歴史・文化に配慮し、既存道路の拡幅による歩車分離・電線類の地中化を行うことで、歩行者・自動車等、道路交通の安全性の確保、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。			主たる内容	市道2-496号線（起点：銀座4丁目～終点：新栄町7丁目）の道路整備 延長 L=360m 幅員 W=17.5m～11.0m 車道幅員 7.0m 歩道幅員 4.0m 電線類地中化						
V	位置づけ	関連計画	中心市街地活性化基本計画、無電柱化推進計画									
		根拠法令	道路法									
	対象者	市民	事業期間	平成15年度～平成30年度								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他										
D O ∧ 実 施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画					
	(H24繰越分) 用地取得 65㎡ 物件移転補償 1件		用地取得 82㎡ 物件移転補償 6件 道路新設改良 130m		(H26繰越分) 用地取得 70㎡ 物件移転補償 6件		(H27繰越分) 用地取得 228㎡ 物件移転補償 6件 道路新設改良 160m					
	(H25契約分) 用地測量 道路詳細設計				(H27契約分) 用地取得 228㎡ 物件移転補償 6件 道路新設改良 160m		(H28契約分) 用地取得 302㎡ 物件移転補償 9件 道路新設改良 115m					
	成果	平成27年度までに道路用地の面積割合で全体の約87%を取得し、道路整備を計画どおり着実に実施できた。										
課題	事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している。											
指標名称（単位）			実績値			目標値						
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度					
活動指標	道路用地の面積取得率（%）		76.1	79.0	84.3	94.5	100.0					
活動指標	道路整備率（%）		—	18.1	40.3	50.2	100.0					
他市との比較検証		_____										
C 事 業 コ ス ト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳					
	事業費 ①		44,682	166,578	216,707	314,020	合計	216,707,258 円				
	財源	特定財源	0	15,105	25,608	31,533	需用費	24,400 円				
		一般財源	44,682	151,473	191,099	282,487	委託料	32,850,811 円				
	職員人件費 ②		3,647	12,812	12,457	21,217	工事請負費	78,588,360 円				
	総事業費（①+②）		48,329	179,390	229,164	335,237	公有財産購入費	24,027,280 円				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		2,267,400		27年度特定財源名称							
	27年度までの累積事業費		1,571,594		市町村土木事業費補助金（県）							
	29年度以降の事業費見込		381,786		電線共同溝建設負担金							
補償、補填及び賠償金		81,216,407 円										

会計名			市道2-496号線他道路新設改良事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	事業推進係
8	2	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	道路を拡幅し、歩道設置、電線類の地中化を行うことにより、交通安全の確保、市民生活の利便性が向上する。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	道路整備に合わせて、電線類の地中化を図るため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	市民生活を安全かつ快適にするため、公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることで、中心市街地の活性化・地域生活基盤の向上が図られる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後も計画通りに用地取得、道路整備を進めていくと共に、銀座A B地区で予定されている開発事業との整合を図っていく。					

会計名		市道01-25号線他電線類地中化事業				担当部	建設部			
一般会計						担当課	道路建設課			
款	項					目	担当係	道路整備第1係		
8	4					3				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	歩道・自転車道の整備							
	目的	歩道内の電線類を地中化することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。 また、道路内の電線類を地中化することで緊急輸送道路としての機能を確保する。	主たる内容	市道01-25号線（起点：東陽町2丁目～終点：大手町5丁目）の道路整備 延長 L=533m 幅員 W=20m（両側歩道 W=3.5m） 電線類地中化 バリアフリー化						
	位置づけ	関連計画	都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画							
		根拠法令	道路法、電線共同溝の整備に関する特別措置法							
	対象者	市民	事業期間	平成20年度～平成31年度						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		道路新設改良 138m （電線類地中化を含む）		道路新設改良 136m （電線類地中化を含む）		（H26繰越分） 道路新設改良 136m （電線類地中化を含む） （H27契約分） 道路新設改良 137m （電線類地中化を含む）		道路新設改良 38m （電線類地中化を含む）		
成果		電線類の地中化及び歩道のバリアフリー化工事を行い、緊急輸送道路の機能確保及び安全で快適な歩行空間を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		道路整備率（％）			67.2	67.2	92.8	97.0	97.0	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		90,501	57,852	232,250	39,879	合計 232,250,172 円			
	財源	特定財源	37,000	1,149	25,308	6,169	需用費 22,000 円			
		一般財源	53,501	56,703	206,942	33,710	委託料 23,509,440 円			
	職員人件費②		1,543	5,209	5,406	3,574	使用料及び賃借料 1,150,000 円			
	総事業費（①+②）		92,044	63,061	237,656	43,453	工事請負費 130,256,640 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		674,594		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		397,131		社会資本整備総合交付金（国）						
29年度以降の事業費見込		237,584		電線共同溝建設負担金						
						補償、補填及び賠償金 17,127,292 円				

会計名			市道01-25号線他電線類地中化事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	4	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保するうえで必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化も行うため、効率的に事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良整備であり、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
県事業と事業調整を図りながら、事業を推進する。					

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・551刈谷環状線電				担当部	建設部		
款	項	目	線類地中化事業				担当課	道路建設課	
8	4	3					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	歩道・自転車道の整備						
	目的	歩道内の電柱及び電線を地中に埋設することで、安全で快適な歩行空間を確保し、市民が安心して歩けるまちづくりを進める。				主たる内容	（都）刈谷環状線（起点：高松町1丁目～終点：住吉町3丁目）の道路整備 延長 L=474m 幅員 W=15m 電線類地中化 バリアフリー化		
	位置づけ	関連計画 都市計画マスタープラン、無電柱推進計画							
	根拠法令	道路法、道路構造令、電線共同溝整備等に関する特別措置法							
	対象者	市民			事業期間	平成25年度～平成33年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				電線類地中化予備設計 L=474m 道路詳細設計 L=474m		電線類地中化詳細設計 L=474m		電線類地中化工事 L=161m	
成果		各電線管理者等と協議を行い、平成28年度から道路整備（電線類地中化及びバリアフリー化）工事に着手できる見込みができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標	道路整備率（％）			—	—	—	17.0	50.0	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		0	7,236	8,964	150,636	合計	8,964,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	17,638	委託料	8,964,000円	
		一般財源	0	7,236	8,964	132,998			
	職員人件費②		0	1,901	2,115	4,335			
	総事業費（①+②）		0	9,137	11,079	154,971			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		1,121,627		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		16,200							
29年度以降の事業費見込		954,791							

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・551刈谷環状線電 線類地中化事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第1係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	電線類地中化は、緊急輸送道路の機能確保及び歩行者の安全で快適な歩行空間を確保する上で必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	電線類地中化に合わせて、歩道のバリアフリー化を実施することでコストの縮減を行い、効率的な事業進捗を図るとともに経費の節減が図られる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	道路の改良事業であるため、道路管理者が行うべき公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	電線類地中化を行うことで良好な歩行空間が確保され、市民が利用しやすい道路とすることができる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度より、道路新設改良工事（電線類地中化工事含む）を実施。						

会計名 一般会計		都市計画道路3・4・569刈谷駅前線道				担当部	建設部	
款 項 目 8 4 3		路新設改良事業				担当課	道路建設課	
						担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境					
		基本施策	道路・交通					
		施策の内容	歩道・自転車道の整備					
	目的	刈谷駅北口周辺における自動車交通の円滑化及び安全性の向上を図るとともに、安全で安心な歩行空間の確保と、まちづくりと一体となった新たなにぎわい空間を創出し、刈谷駅北口のシンボルロードづくりを進める。			主たる内容	(都)刈谷駅前線(起点:相生町2丁目~終点:桜町1丁目)の道路整備 延長 L=250m 幅員 W=18.0m 車道幅員 5.0m(一車線、一方通行) 歩道幅員 4.0m~9.0m 電線類地中化 バリアフリー化 交差点改良 2箇所		
	位置づけ	関連計画 都市計画マスタープラン、無電柱化推進計画 根拠法令 道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法						
	対象者	市民		事業期間	平成27年度 ~ 平成33年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画
		—		—		電線類地中化予備設計 交差点詳細設計		(H27繰越分) 電線類地中化予備設計 交差点詳細設計 (H28契約分) 道路詳細設計 電線類地中化詳細設計 連絡通路延伸詳細設計
		成果	電線類地中化に向け、電線管理者との協議を進めた。					
課題		今後、地元ワークショップ及び警察との協議を進める必要がある。						
指標名称(単位)				実績値		目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
活動指標	道路整備率(%)			—	—	—	—	25.0
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位:千円		25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	4,698	46,962	合計	4,698,000円
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,698,000円
		一般財源	0	0	4,698	46,962		
	職員人件費②		0	0	3,682	2,586		
	総事業費(①+②)		0	0	8,380	49,548		
	建設事業	全体事業費(単位:千円)		841,339		27年度特定財源名称		
27年度までの累積事業費		4,698						
29年度以降の事業費見込		789,679						

会計名 一般会計			都市計画道路3・4・569刈谷駅前線道 路新設改良事業		担当部	建設部
款	項	目			担当課	道路建設課
8	4	3			担当係	道路整備第2係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	交通拠点となる刈谷駅にふさわしい、賑わい空間を創出し、活性化を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	地元ワークショップと連携し、意見を反映した事業である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	中心拠点区域内の回遊性や住民の生活環境向上に資するインフラ整備である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	新たな都市交通環境を形成し、刈谷駅北口のシンボルロードとして、賑わいと活力を創出する。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
地元ワークショップと連携し、地元意見を反映した道路整備を行う。						

会計名			駐輪場整備事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	4	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	駐車場・駐輪場の整備							
	目的	自転車利用者の利便性の向上と違法駐輪を無くし、交通の安全と環境美化を図る。	主たる内容	駐輪需要の増加に伴い、駐輪場の計画的整備を行う。						
	位置づけ	関連計画		都市計画マスタープラン、刈谷駅周辺駐輪場整備基本計画						
		根拠法令		建築基準法、刈谷市自転車等の放置防止に関する条例						
		対象者	市民	事業期間	平成6年度 ~ 平成28年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		駐輪場詳細設計 （富士松駅南口駐輪場、一ツ木駅南口第3駐輪場） 富士松駅南口駐輪場設置 一ツ木駅南口第3駐輪場設置		野田新町駅南口駐輪場設置		刈谷駅南口第4駐輪場設置		・富士松駅南口第2駐輪場設置 ・野田新町駅南口駐輪場整備		
成果		刈谷駅南口第4駐輪場を整備し、利用者の分散駐車を実施したことにより、刈谷駅南口にある駐輪場の混雑緩和に寄与することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		駐輪場設置箇所（箇所）			2	1	1	1	—	
活動指標		自転車収容台数合計（台）			7,131	7,508	8,329	8,768	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		23,752	31,533	57,441	85,807	合計	57,441,000 円		
	財源	特定財源	0	8,500	0	9,000	役務費	174,000 円		
		一般財源	23,752	23,033	57,441	76,807	工事請負費	57,267,000 円		
	職員人件費 ②		2,946	3,309	2,899	1,673				
	総事業費（①+②）		26,698	34,842	60,340	87,480				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		1,100,533		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		1,014,726						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			駐輪場整備事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第2係
8	4	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	駐輪場利用者の利便性向上、及び違法駐輪の削減のために必要な事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	計画的に事業用地の確保、駐輪場の設置を行っており、効果の確認ができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	駐輪場利用者の利便性向上を図るとともに、違法駐輪をなくす事により、安全で快適な歩行空間を確保するなど、公共性の高い事業である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	駐輪場の新設・増設により、駐輪場が利用しやすくなるとともに、違法駐輪の減少と環境美化に繋がる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度事業完了予定					

会計名 一般会計			橋りょう補強事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	4					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	福祉安全					
			基本施策	防災					
			施策の内容	災害に強いまちづくり					
	目的		避難道路に架かる橋りょうの耐震化を促進し、地震発生後の道路機能を確保することで、避難する市民の安全性を高める。			主たる内容	○橋りょうの耐震化 対象橋りょう数 29橋		
	位置づけ		関連計画				地域防災計画、地震対策アクションプラン		
			根拠法令			道路法			
	対象者		市民		事業期間	平成24年度～平成32年度			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		橋りょう耐震化計画策定 ・避難道路（案）の設定 ・地区代表とのワークショップ ・耐震化する橋りょうの選定		橋りょう耐震補強実施設計 6橋		橋りょう耐震補強実施設計 6橋 橋りょう耐震補強工事 1橋		橋りょう耐震補強実施設計 5橋 橋りょう耐震補強工事 6橋	
成果		耐震補強実施設計を行うとともに、補強工事に着手することができた。							
課題		橋りょう耐震化計画にもとづき、今後橋りょう補強について関係機関との調整が必要。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		避難道路内の橋りょうの耐震化率（％）			—	—	3.4	24.1	65.5
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		40,650	57,418	13,554	98,227	合計	13,553,600円	
	財源	特定財源	0	0	0	5,900	委託料	9,579,600円	
		一般財源	40,650	57,418	13,554	92,327	工事請負費	3,974,000円	
	職員人件費②		2,595	2,745	3,447	4,107			
	総事業費（①+②）		43,245	60,163	17,001	102,334			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		922,952		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		119,790							
29年度以降の事業費見込		704,935							

会計名			橋りょう補強事業	担当部	建設部
一般会計				担当課	道路建設課
款	項	目		担当係	道路整備第1係
8	2	4			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	発災後、地域住民が避難所まで安全に移動できるよう、避難道路内にある市が管理する橋りょうの耐震化を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	橋りょうの耐震化計画と長寿命化計画を調整することでコストの縮減を図り、効率的に事業を進めることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	刈谷市地域防災計画で、市の責務として「被災者等が迅速かつ安全に避難できるよう、通行確保に努める」としている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	災害に強いまちづくりを行うためには、避難道路に架かる橋りょうの耐震化が必要である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
関係課と調整しながら、耐震補強工事を順次実施し、避難道路の機能確保に努める。					

会計名			道路用地等管理事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	道路整備第2係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境							
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	取得済み道路用地等の草刈り、砕石敷均し等の維持管理を行い、安全を確保する。				主たる内容	事業着手するまでの期間、取得した道路用地の定期的な草刈を行う。また、必要に応じ安全面を考慮して砕石の敷均しを行う。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者					事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		道路事業用地管理（除草、砕石敷均し）		道路事業用地管理（除草、砕石敷均し、舗装補修）		道路事業用地管理（除草、砕石敷均し、舗装補修）				
成果		道路用地として取得した土地の維持管理が適切に行われている。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,289	1,709	2,438	20,800	合計	2,437,560 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	1,227,960 円		
		一般財源	4,289	1,709	2,438	20,800	工事請負費	1,209,600 円		
	職員人件費 ②		491	1,549	1,332	1,293				
	総事業費（①+②）		4,780	3,258	3,770	22,093				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			市道1-96号線道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	事業推進係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	井ヶ谷町中前田周辺の主要な生活道路を拡幅整備することで、生活基盤及び地域の住環境の向上を図る。		主たる内容	市道1-96号線（井ヶ谷町中前田）の道路整備 延長 L=270m 幅員 W=6.0m				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	道路法					
		対象者	市民	事業期間	平成15年度～平成35年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
				用地取得面積 59㎡ 物件移転補償 1件		道路整備 40m			
成果		用地が取得できた箇所について道路整備ができた。							
課題		地元沿線住民の事業に対する理解が得られず、用地交渉が難航している。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		道路用地の面積取得率（％）			25.2	34.4	34.4	34.4	34.4
活動指標		道路整備率（％）			29.0	29.0	36.3	36.3	36.3
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	1,685	0	合計	1,684,800 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	1,684,800 円	
		一般財源	0	0	1,685	0			
	職員人件費 ②		0	0	1,332	0			
	総事業費（①+②）		0	0	3,017	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			市道3-629号線他道路新設改良事業				担当部	建設部	
一般会計							担当課	道路建設課	
款	項	目					担当係	道路整備第2係	
8	2	3							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	拡幅と新設による道路を整備することで、 狭隘道路の利便性を確保する。		主たる内容	市道3-629号線（起点：小垣江町上～終点：小垣江町中）の道路整備 延長 L=530m 幅員 W=6.0m				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成12年度～平成27年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		用地取得	144㎡	(H25繰越分) 用地取得		(H26繰越分) 道路新設改良			
物件移転補償		4件	144㎡	4件	56m				
			(H26契約分) 道路新設改良		56m				
成果		物件移転が完了し、工事を完了することができた。							
課題									
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度
	活動指標	道路用地の面積取得率（％）			100.0	—	—	—	—
	活動指標	道路整備率（％）			89.4	89.4	100.0	—	—
	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費①		32,643	15,327	6,538	0	合計	6,538,320円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	6,538,320円	
		一般財源	32,643	15,327	6,538	0			
	職員人件費②		9,258	5,209	1,332	0			
	総事業費（①+②）		41,901	20,536	7,870	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		513,049							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			交差点改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	事業推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	幅員が狭く右折帯が設置されていない主要交差点に右折帯を設置し、交通渋滞の緩和を図る。			主たる内容	○改良箇所 21箇所 ○未改良箇所 交差点改良事業による整備予定 2箇所（稲場町、司町） 道路事業など他事業による整備予定 2箇所（中島町、今川町）			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民		事業期間	平成5年度 ~ 平成33年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		神明町交差点（歩行者溜り） 用地取得 4㎡ 歩道工事 1式		—		野田町十三塚交差点 用地取得 64㎡ 右折帯設置 1箇所		(H27繰越分) 野田町十三塚交差点 右折帯設置 1箇所	
成果		野田町十三塚交差点の未買収用地を取得し、交差点改良工事に着手することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標	交差点改良箇所数（箇所）			1	—	1	—	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,619	0	14,089	10,233	合計	14,088,589 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,000 円	
		一般財源	1,619	0	14,089	10,233	委託料	241,725 円	
	職員人件費 ②		1,894	0	1,567	913	工事請負費	5,300,000 円	
	総事業費（①+②）		3,513	0	15,656	11,146	公有財産購入費	8,541,864 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			道路調査事業				担当部	建設部		
一般会計							担当課	道路建設課		
款	項	目					担当係	事業推進係		
8	2	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境			主たる内容	○交通量調査業務委託 交差点交通量調査 5交差点 ○用地測量業務委託 用地測量 L=250m ○歩道施設点検業務委託 歩道施設点検 L=147km			
		基本施策	道路・交通							
		施策の内容	道路の整備							
	目的	地区要望等による新規道路計画の検討・調査を行うと共に、各事業の計画・中間・完了段階に交通量調査等を行い、計画の基礎資料収集・事業の効果確認を行い、適正な事業進捗を図る。								
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	道路法							
		対象者	市民		事業期間	平成25年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		市道02-5号線他 道路予備設計 L=907m 路線測量 L=907m 平板測量 A=0.04km		市道02-19号線他 道路設計 L=0.07km 平板測量 A=3,200㎡		市道01-29号線 歩道施設点検業務委託 歩道施設点検		南北縦貫道路 道路予備設計 L=1.0km 交差点予備設計 1箇所 橋梁予備設計 1橋 地質調査 1箇所 現況、用地測量 市道01-29号線 歩道詳細設計 L=250m 現況測量 L=250m		
市道2-402号線他 道路予備設計 L=117m 路線測量 L=118m 平板測量 A=0.006km		環状交差点導入検討業務委託								
成果		各種検討の基礎資料となる交通量調査を実施することができた。また、地区と調整を図りながら道路設計を進めることができた。								
課題										
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		9,125	10,093	9,521	47,600	合計	9,520,740 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	9,520,740 円		
		一般財源	9,125	10,093	9,521	47,600				
	職員人件費 ②		2,244	3,661	3,290	6,236				
	総事業費（①+②）		11,369	13,754	12,811	53,836				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
		27年度までの累積事業費		0						
29年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			横断歩道橋新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	4					担当係	道路整備第1係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	幹線道路を横断する歩行者を、自動車交通と立体交差させ、交通の安全を確保する。			主たる内容	横断歩道橋新設改良 1基			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	道路法、道路構造令							
	対象者	市民		事業期間	平成25年度 ~ 平成27年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
横断歩道橋実施設計 重原横断歩道橋 1基		重原横断歩道橋（下部工） 重原横断歩道橋（上部工）		（H26繰越分） 重原横断歩道橋（下部工） 重原横断歩道橋（上部工）		—			
成果		横断歩道橋の形状等について、地元調整を行い工事に完了することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		横断歩道橋新設改良（基）			—	—	1	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		9,480	33,350	193,337	0	合計	193,336,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	193,336,600 円	
		一般財源	9,480	33,350	193,337	0			
	職員人件費 ②		842	1,901	2,115	0			
	総事業費（①+②）		10,322	35,251	195,452	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
		27年度までの累積事業費		236,166					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市道02-19号線道路新設改良事業				担当部	建設部	
款	項	目					担当課	道路建設課	
8	2	3					担当係	道路整備第2係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	都市環境						
		基本施策	道路・交通						
		施策の内容	道路の整備						
	目的	現在未利用の道路用地を歩道として整備して、薬師川沿いの堤防道路を通学路に変更することにより、歩行者の交通安全の向上を図る。	主たる内容	市道02-19号線（重原本町2丁目）の道路整備 延長 L=101m 道路復員 W=13.0m 車道復員 W= 6.0m 歩道復員 W= 7.0m					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	道路法						
		対象者	市民	事業期間	平成27年度 ~ 平成27年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
						道路新設改良工事 101m			
成果		未利用の道路用地に歩道を整備し、道路利用者の安全性を向上させた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
活動指標		道路整備率（%）			—	—	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	19,793	0	合計	19,793,160 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	19,793,160 円	
		一般財源	0	0	19,793	0			
	職員人件費 ②		0	0	1,724	0			
	総事業費（①+②）		0	0	21,517	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							